









皆の背の部分が留学生の方々です。





今回の田植えにはアラブ首長国連邦のカリド・オムラン・スカイト・サルハン・アルメリ駐日大使と東海大学の留学生あわせて25名の参加がありました。大使は「皆との交流ができることがうれしい。農家の人たちの心を感じたい」と語られていました。

大使を初め、学生さんたちは日本語が堪能で、通常の会話は日本語でOKでした。言葉の上達方法を尋ねると、「その国で生活することが良いと」クリクリとした大きな瞳を輝かせ教えられました。

健闘ぶりをアップできれば良いのですが。